

(株)真人の山本社長

# 「全国的な認知度向上を」

## 廃石膏再利用でセミナー

研究発表する

(株)真人の山本社長



が集まる廃石膏ボードの  
利活用に関し、(株)真人の  
山本芳弘社長や大学教授  
など6人が研究発表。最  
新の情報などが報告さ  
れ、参加者は熱心に聴講  
した。

長崎大学の杉山和一准  
教授は、廃木材および再  
生石膏を用いた緑化基盤  
材の開発をテーマに、産  
学官で取り組んだ「リサ  
イクル資材研究開発事  
業」の取り組みを紹介。研  
究の結果、廃木材と再生  
石膏を用いた緑化基盤材  
が、従来工法と比較して  
同等以上の性能を有する  
ことを確認した。などと  
報告した。

(株)真人の山本社長は、

5年程前から取り組んで  
いる自社の活動を紹介  
し、「廃石膏ボードは年々  
増え続けており、リサイ  
クルが必要。われわれが  
開発した地盤改良剤『エ  
コパ』の需

要も着実に  
伸びており、  
今後は全国  
的な普及に  
向けて認知  
度の向上が  
課題」など  
と、中性・無  
害で環境に  
やさしい同  
製品の公共  
工事などへ  
の採用に一  
層努力して

いく考えを示した。  
翌16日には、今夏に大  
村市雄ヶ原へ製造拠点を  
移した(株)真人の新工場を  
一行が訪れ、エコパの製  
造過程などを見学した。



(株)真人の「エコパ製造工場」を見学する参加者

建築現場から発生する  
廃石膏ボードの再利用技  
術などに関する「廃石膏  
マテリアルリサイクルセ  
ミナー」が15日、長崎市出  
島町の県美術館で開か  
れ、県内外から関係者約  
1000人が参加した。主

催は廃石膏ボード再資源  
化研究会(会長 鶴飼恵  
三群馬大学大学院工学研  
究科教授)。県土木部建設  
企画課や長崎総合科学大  
学などが後援した。  
セミナーでは、循環型  
社会の形成に向けて注目